

市政 News

詩人「朔太郎」をしのぶ

前橋文学館で5月13日、郷土の詩人・萩原朔太郎をしのぶ朔太郎忌が開かれました。今年で35回目。日本現代詩人会長の安藤元雄さんによる講演などが行われ、参加した120人は熱心に聞き入っていました。



鮮やかな花びらまつり

5月12日と13日の2日間、「Qのまち春のフェスティバル」を開催。中心市街地の各所でたくさんの方々のイベントが行われました。鮮やかな花で埋め尽くされた中央通りは、大勢の家族連れでにぎわい、活気に満ちあふれていました。



食卓での団らんが表現できました



内閣府の食育推進標語に
村岡 貴文さん・16歳
元総社町

内閣府が募集した本年度の食育推進に関する標語に、全国から寄せられた4万2,029点もの作品の中から選ばれた。
「報告を受けたときは、実感がわきませんでした。でも、友達からおめでとうと言ってもらい、だんだんうれしさが込み上げてきました」
作品は「語りあおう その日のでき事 食卓で」。本年度の食育推進テーマ「食卓の団らん、楽しい食事」「食生活、栄養バランス」「食を大切にする気持ち」のうち「食卓の団らん、楽しい食事」の標語として、ポスターやパンフレットなど全国で幅広く活用される。
「高校の国語の授業で、3つのテーマすべての標語を作ることになったんですが、先生の説明を聞き、家族

で楽しく食卓を囲んでいるイメージがすぐ頭に浮かびました。ほかの2つと比べても、これはうまく表現できたと思います」
今月の9日と10日、福井県越前市で開催される第2回食育推進全国大会に招待され、表彰を受ける。
「今まで行ったことがない場所なので、とても楽しかったです。いろいろな人と色々な話をしたいな」
現在、前工高電気科2年。普段は小学生まで習っていたピアノを弾いたり書道をしたりして、高校生活を楽しくしている。
「将来はパソコン関係の仕事に就きたいです」と真つすがな視線で語った。社会に羽ばたくその日まで、たくさんの方にチャレンジし、夢をかなえてほしい。



森林浴を楽しみながら

粕川町中之沢のおおさる山乃家から乙女の滝までのハイキングが5月20日、行われました。参加した約100人の中には途中から孫をおぶって歩く姿も。弧を描いて吹き出す滝にたどり着くと、みんな喜びを分かち合い疲れを癒やしました。

“芝桜ひろげたい” 展開

5月20日、みやぎ千本桜の森に900人の市職員ボランティアが1万4,200株のシバザクラを植え込みました。この作業は6月17日までの毎週日曜、午前9時から正午まで実施。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。



若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★佳作 ホウセンカ

山王小3年
小出 奈生さん

ホウセンカの花は、
1〜2mmぐらい
4月たねをまいた。
毎日水をあげた。
「大きくなれ大きくなれ。」
と言いながら
水が私の気持ちを
はこんでくれる
めが出た
とてもかわいいめだ。
5月ほん葉が出た
ぎざぎざして
毎日水をあげた。
「大きくなれ大きくなれ。」
と言いながら
水が私の気持ちを
はこんでくれる
6月どんどん大きくなった。
葉も多くなり太い
水をいっぱいやりすぎて
たのかなか
毎日水をあげた。
「大きくなれ大きくなれ。」
と言いながら
水が私の気持ちを
はこんでくれる
7月やっと花がさいた。
赤とピンクの花だ

ひらひらしてドレミみたい
私がそだてた大事なホウセンカ。

水と土と太陽の力で
美しい花がさく。
たねってふしぎだな。

★佳作 「いっせいの、せい」

桃井小6年
武井 愛さん

「いっせいの、せい」で、街中の
ネオンがパツと消え
「いっせいの、せい」で街中の
信号や電灯、走っている車のライト
が消え

「いっせいの、せい」で街中の
人々が家の明かりを全て消し

「いっせいの、せい」でみんな
空を見上げた

空いっぱい大きく広がる天の川
そこを駆けぬける流れ星

見たこともない輝く世界が見える
のだらうな